

広報ふじみ 平成 29 年 10 月号 No.571

名取重治町長 就任のご挨拶

富士見町の持つ豊かな人間力・地域力、底力を活かしたい

就任に当たって私の富士見町に対する想い、町政に対する基本的な考えを皆様にお伝え致します。

私は、富士見町には大きな底力があると思っています。

他の市町村と比較しても決して劣らない多くの強み、特性を持っています。

長い歳月の間、厳しい自然環境と対峙する中で、この地域の人々の間に培われてきた忍耐力や勤勉性、困難に対する団結力、周囲の人々への優しさ、そして自然の恵みに対する感謝と畏敬の念。

こういう精神性や自然条件の中で育まれたこの地域の風土、歴史、文化そしてこの町に暮らす人々に私は限りない愛着を覚えています。恵まれた自然や大都市圏からのアクセスの良さも大きな強みです。

町の農業には蓄積された技能・技術があり、工業にも卓越したものづくりの技能・技術と開発力があります。

また、それぞれの地域の中には、お互いに支え合い、協力し合い、共に喜びや悲しみを分かち合える風土があります。

これらが地域力であり、人間力です。これこそが底力だと思います。

このような人間力・地域力豊かな町だからこそ、富士見町に移り住んでこられた方々も多いはずです。

この豊かな人間力、地域力、底力を守り、伸ばし、引き継いでいくことが私の使命であると考えています。

そして町の強みである多くの資源、特性を総合的にバランス良く高めることこそが町の活性化、人口減対策にも繋がっていくものと信じています。

私は民間の製造会社に 28 年間、役場に 12 年間勤務をしてきました。従って官民双方向からの視点を持っていると思っています。官と民ではどちらが良い、悪いではなく、物の見方や考え方、その切り口に明らかに差があります。

特にスピード感覚やコスト意識には違いがあります。その違いがあるということを知っているのも私の強みです。

また、私は役場勤務の中で矢嶋、小林お二人の町長の元で仕事をさせていただきました。お二人ともそれぞれに独特の個性の持ち主であり、実績も残してこられました。近く

にいて、折に触れ、いろいろと学ばせていただき、今の私の大きな財産となっています。

こういった経験も活かしながら、私なりの町政運営をしたいと思います。

私は私の色で、私なりのリーダーシップで町政を担っていきます。

そして、町民の皆様の声をこまめに吸収し、町民の皆様と意欲ある町職員の智恵を結集しながら、よりよい町づくりに向けて誠心誠意取り組んで参りますので、どうかご指導、ご協力をお願い申し上げます

平成29年度 住民懇談会開のご案内

【お問い合わせ先】 総務課 企画統計係 電話番号：62 - 9332

新たに定年帰農者の支援を始めました

【お問い合わせ先】 総務課 企画統計係 電話番号：62 - 9332

不用食器リサイクル回収・もったいない市

【お問い合わせ先】 建設課 生活環境係 電話番号：62 - 9114

犬、猫の避妊・去勢手術を助成します

【お問い合わせ先】 長野県動物愛護会諏訪支部 電話番号：23-5998 または 長野県獣医師会諏訪支部 電話番号：53-1155

町職員の給与等の状況を公表します

【お問い合わせ先】 総務課 庶務人事係 電話番号：62-9322

地域安心ネットワークに登録しませんか？

【お問い合わせ先】 住民福祉課 社会福祉係 電話番号：62-9144

国保だより 年金だより

【お問い合わせ先】 住民福祉課 国保年金係 電話番号：62 - 9111

「高齢者のインフルエンザ予防接種」のお知らせ

【お問い合わせ先】 住民福祉課 保健予防係 電話番号：62-9134

「食育推進チーム」だより

【お問い合わせ先】 住民福祉課 保健予防係 電話番号：62-9134 （担当） 富士見町 栄養士会

胃がん検診（バリウム検査）・大腸がん検診（便潜血反応検査）のお知らせ

【お問い合わせ先】 住民福祉課 保健予防係 電話番号：62-9134

第2回 救急法勉強会に参加してみませんか

【お問い合わせ先】 住民福祉課 社会福祉係 電話番号：62-9114

2歳から3歳児保護者のみなさんへ 親子でぱくぱく幼児食教室

【申込み】【お問い合わせ先】 住民福祉課 保健予防係 電話番号：62-9134

立木を伐採するとき、森林の土地を取得したときは届出を

【お問い合わせ先】 産業課 農林保全係 電話番号：62-9222

宝くじの売り上げの一部は『地域のコミュニティ活動』に活用されています

【お問い合わせ先】 (公財) 長野県市町村振興協会 電話番号：026-234-3611

富士見町 教育委員会だより 第142号

平成29年10月1日発行 富士見町教育委員会編集

【お問い合わせ先】

電話番号：62-9235

メールアドレス：kodomom@town.fujimi.lg.jp

くらしの情報

お知らせ・相談・募集・イベント

詳細は富士見町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.fujimi.lg.jp/>

富士見町人材育成海外派遣事業

中学校生徒参加者募集

【申込み】【お問い合わせ先】生涯学習課 生涯学習公民館係 電話番号：62-7900

消費者見守り情報 No.80

【お問い合わせ先】

住民福祉課 住民係 電話番号：62-9112

茅野市消費生活センター 電話番号：72-2101 (内線 256)

長野県中信消費生活センター 電話番号：0263-40-3660

住民だより 9月

こんにちは地域包括支援センターです

10月の納税等

親と子の健康ガイド 10月（10月11日から11月10日）

詳細は富士見町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.fujimi.lg.jp/>

Stay Smile（ステイ・スマイル）

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがステイ・スマイル（笑顔のまま）です。

農業の未来へ向かって 新たな力

町新規就農支援事業

金子 由飛さん、まどかさん（立沢）

立沢でカーネーションを生産しています。カーネーションというと母の日に贈る赤いカーネーションをイメージする方が多いと思いますが、一口にカーネーションといっても品種は数百、数千とも言われ、様々な色、形があります。ここ諏訪地域で作られているカーネーションは6月から10月頃に出荷のピークを迎え、主に仏花やブライダル用として使われています。長野はカーネーション、キク、トルコギキョウをはじめ全国でも有数の花の産地で、中でも諏訪地域は特に花の生産が盛んです。

みなさんは普段花を買いますか。日常的に花を買う方はあまり多くないのではないかと思います。花は生活必需品ではありません。基本的には食べられないし、無くても生きて

いけるでしょう。しかし私はまさにそこにやりがいを感じています。無くてもいいけど、あったらより華やかになる。日々の暮らしに彩りを加え、人々の生活を豊かにする。それが花の役割だと思っています。庭や玄関先、食卓に花がある生活を想像してみてください。いつもの風景が少し華やかになりませんか。

今私はたくさんの方々にご支援いただき、花農家としての一步を踏み出すことができました。まだまだ知識も技術も未熟で、日々勉強の毎日ですが、少しでも早く一人前の農家になり、地域の方々に恩返しできたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

子育てはたくさん笑顔とたくさんの手で 子どもの場所から

NPO 法人ふじみ子育てネットワーク 電話番号：62-5505

子ども支援のある実践者が、子どもの情緒、感情の発達について40年にわたる長い期間の研究の結果、赤ちゃんの時に「笑わせること」がとても有効だということがわかった、と著書に明らかにされています。現代は一昔前と比べて育児環境が大きく変化し、父母と子どもの核家族で、さらに父親が家族と過ごす時間が短く、ほとんど母親一人で育児をしている家庭が多くなっています。小さな子どもが関わる大人の数に比べて圧倒的に減少しています。また親世代も核家族で育っていて、小さな子どもをあやす経験をしていないので、子どもをあやしたことがない父親も少なくないそうです。中には、いないいないばあは2回程度で終わらせ、それ以上くどくやらないほうがいいという間違った情報を真剣に信じている親もいたそうです。親がその親に「子どもが4ヶ月くらいから1歳ぐらいのときはあやし笑わせてあげなさい」と教えられていないのです。さらに子育て環境にテレビやDVDなどのメディアが入ってくるようになったことで、赤ちゃんが人から笑わせられる機会や、笑わせてくれる大人と目を合わすことも少なくなり、子どもの情緒や感情の発達が促されにくくなっているそうです。

いい育児環境を考えると、少し前の子育てのように、親はもちろん、兄弟、祖父母、親戚、隣人、など多くの方が赤ちゃんをあやして笑わせること、そのあやしは、おつむてんてん、いないいないばあ、いっぼんぼしこちょこちょ、上がり目下がり目、などのシンプルな笑わせあそびでいいこと、子どもが声をあげて笑うまでやってあげることが大切だとのこと。0～1歳児をあやすことは、無表情、目が合わない、言葉が出ない、など子どもの発達の遅れの予防に繋がると筆者は力説しています。

昔からのあやし遊びは、生活の中に当たり前にあったものですが、実は子どもの育ちにとっても大切な役割をはたしていたことに改めて感動するとともに、今育児をしている親世代に伝承していきたい子育ての技です。

いざその時 災害から身を守る

【お問い合わせ先】 総務課 防災危機管理係 電話番号：62-9326

地域の力 自主防災組織

【自主防災組織とは？】

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的として結成された組織の事です。

自主防災組織は、日頃から災害に備えた様々な取り組みを実践するとともに、災害時には、初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給水給食などの活動を行います。

【自主防災組織はなぜ必要か？】

大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。

このような時、住民が一致協力し、地域ぐるみで取り組むことで有効な対策をとることができます。ここに自主防災組織の必要性があります。

阪神・淡路大震災では、救出された人たちの約7割が、家族や近所の方々により救出されたという報告があり、このことから、自主防災組織の有効性が認識されています。

【自助・共助・公助の連携】

大規模な災害が起こった時、被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」「公助」がうまく連携することが重要だといわれています。この、「自助」「共助」「公助」とはどのような意味でしょうか。

- ・自助とは、自分の命は自分で守るということ。
- ・共助とは、自分たちの地域は自分たちで守るということ。
- ・公助とは、国・県・町などの行政が主体となって、災害に強い「まち」をつくること。

防災の基本は、「自分の身の安全は自分で守る」ということです。自分、地域、行政が役割を分担し、それぞれが

助け合いながら防災対策を進めていくことが大切です。 災害当初において、地域の命や財産を守るのは、そこに住む地域の人たちです。「共助」の役割を十分に担えるよう、自主防災組織の活動に積極的に参加しましょう。

くらしのガイド 10月（10月1日から11月10日）

詳細は富士見町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.fujimi.lg.jp/>

中学生広島平和教育研修

8月5日から7日まで、富士見中学2年生5名が町の代表として広島市を訪問しました。

平和記念式典への参列や平和記念資料館見学、被爆された方のお話しなどから、戦争の悲惨さや平和の尊さを学びました。参加者5名がこの研修を通して感じた平和への思いや決意を、今月から数回に分けて紹介します。

私が見て感じた広島

ふじみ中学2年 富山 みそら（とみやま みそら）

「本当にこの場所にあの核兵器が落ちたのか？」そう疑ってしまうほど、広島は活気があって様々なものであふれていました。しかし、にぎやかな大通りを抜けて平和記念公園へ向かうとその疑いは消え、確かにここに原爆は落ちたのだと確信しました。

平和記念式典での広島市長の平和宣言や子ども代表の平和への誓いは、広島に生きる人々の平和への思いが切実に伝わってきました。そしてその平和宣言で核兵器禁止条約に百二十二か国が賛同したということを知り、「核兵器のない世界」に向けて、一歩ずつ近づいていることを実感することができました。

私たちに証言をしてくれた木村巖さんは、「原爆や戦争への恨みよりも自分で立ち上がらなくてはという思いが強かった」と語ってくれました。また、「あんな時代は二度とあってほしくない」ともおっしゃっていました。戦闘機が頭上を飛び交い食糧は入手しにくく、国のために中学生でも働かなくてははいけない時代。一つの戦争、原爆がこんな時代を作ってしまうことに強い怒りと深い悲しみを覚えました。

その怒りと悲しみがさらに強く深いものになったのは平和記念資料館を見学したときで

した。ボロボロの服や弁当箱などの遺品は犠牲者の方が「つらい、苦しい、死にたくなかった」と訴えているようで胸が苦しくなり、二度と戦争を起こしたり核兵器を使ったりしてはいけないと強く思いました。

今回私は広島を訪問し、戦争や原爆がどれだけの人々の人生や平和や未来を奪ったのかを学んで今を大切に過ごしたい、そしてこの事実を一人でも多くの人に伝えたいと思いました。また広島には外国の方も大勢いて国際的に広島や原爆への関心が高まっているのを感じられました。この訪問で学んだこと、感じたことを無駄にせず世界平和実現のため自分ができることを考え実行します。

僕が考える平和

神崎恵土(こうざき けいと)

今から七十二年前の昭和二十年八月六日、その日の広島は真っ青な空、とても天気の良い朝だった。上空では着々と地獄の舞台が準備されているとも知らず広島市の一日の活動が始まった・・・いつものように。そして、その時は来た。午前八時十五分。エノラ・ゲイ号によって『リトルボーイ』と名の付けられた原子爆弾は落とされた。この、たった一発の原子爆弾によって、広島は街は一瞬にして焼け野原となった。爆風により家は壊れ、人々はその下敷きになって燃え、また別の人々はガラスの破片がつきささっていた。周りには、火傷して皮膚が垂れ下がった裸同然の人が水を求めさまよっていた。僕は広島を訪問して、このような惨事を知り、もう二度と起こしてはいけないことだと痛感しました。今の日本が平和であるのは戦争をしていないからだと思います。そしてそれは実際に戦争を体験された方たちが悲惨さを訴え続けた努力があって富士見中学校2年のことです。被爆者の高齢化に伴い原爆のことを知らない人が増えていくことは、平和を考える上で緊急の課題の一つです。日本だけでなく世界が平和になるためには私たち若い世代が伝えなくてはなりません。私たちには伝える義務があります。そして唯一の被爆国に住む私たち日本人が伝えることは使命であると思います。その使命を全うするために、七十二年間かけて築き上げてきたものを受け継ぎ、日本が唯一の被爆国であるという自覚を持ち、戦争について学ぶことが大切だと思います。今もなお原爆による被害に不安を抱き続けながら生きている人がいます。そしてこの世界には、一万を超える核があります。世界には平和ではない人がいます。平和ではない国があります。私たちの力がたとえ微々たるものでも戦争について知ることはできると思います。原爆について知ることはできると思います。もしそうしなければあの日の出来事を繰り返してしまうことになってしまいます。「世界平和」を実現することもできません。

広島研修をきっかけに、今後も原爆、戦争について考えていきたいと思っています

News Fujimi

全国高校総体ボート競技優勝報告

8月24日（木曜日）

8月初旬に宮城県で行われた全国高校総体ボート競技の男子舵手つきクオドルプルで、岡谷南高校漕艇部が優勝しました。選手5名のうち富士見町在住の3名が町長、教育長へ優勝を報告しました。チームで唯一の2年生の小林怜矢君は「4月から先輩たちと同じチームでやらせてもらっていい経験ができた。これからは活かしたい。」と話してくれました。

第53回 富士見町戦没者追悼式

8月30日（水曜日）

グリーンカルチャーセンターにおいて戦没者追悼式が行われ、戦争で犠牲になった方々のご冥福を祈るとともに、戦争の悲惨さや平和の尊さを未来に語り継ぎ、二度と同じ過ちは繰り返さないことを誓いました。

また、広島平和教育研修に参加した5名を代表し、富士見中学校2年、神崎恵土君、小林なのはさんが広島で感じた思いや決意を発表してくれました。

富士見町総合防災訓練

9月3日（日曜日）

役場庁舎駐車場を中心に富士見町総合防災訓練が実施されました。

「高原の縄文王国収穫祭」 開催します

【お問い合わせ先】 井戸尻考古館 電話番号：64-2044

姉妹町 西伊豆だより

【問合せ】 西伊豆町まちづくり課観光係 電話番号：0558-52-1114

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。

詳しくは、

<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html>

の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体：広報ふじみ

単位等：下1段（縦50ミリメートル、横175ミリメートル）

広告料：1回5,000円

広告媒体：町のホームページ（町民のページ）

単位等：トップページ（縦60ピクセル、横150ピクセル）

広告料：月額5,000円

広報ふじみあとがき

町の人口と世帯数

平成 29 年 9 月 1 日現在

(前月比)

住民基本台帳人口

男性：

7,275 人 (2 人減少)

女性：

7,572 人 (増減なし)

合計：

14,847 人 (2 人減少)

世帯：

5,953 世帯 (5 世帯増加)

発行日

平成 29 年 10 月 1 日

編集・発行

富士見町総務課

郵便番号：399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合 10777

電話番号：0266-62-2250 (代表)

ファクス番号：0266-62-4481

ホームページ

<http://www.town.fujimi.lg.jp>

Eメール

fujimi@town.fujimi.lg.jp

印刷

有限会社富士見印刷

休日・夜間の緊急医電話番号案内

長野県救急医療情報センター

電話番号：0120-890-422